

新年あけましておめでとうございます。  
 旧年中は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
 本年もどうぞよろしくお願い致します。

1月7日は「七草の日」です。お正月で疲れた胃腸を休め、1年の無病息災を願い七草粥を食べる日です。

七草粥には春の七草と呼ばれるセリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロの7種類の若菜が入っています。これらの若菜にはビタミンやミネラルが豊富に含まれており、胃腸の調子を整え冬の寒さで疲れた体をいたわる効果が期待できます。古来より、七草粥は邪気を払い無病息災を願う行事として親しまれてきました。七草はそれぞれに異なる効果を持っています。セリは消化を促進し、ナズナは解熱作用、ゴギョウは咳止め、ハコベラは菌ぐきの出血予防、ホトケノザは高血圧予防、スズナは消化促進、スズシロは胸やけを抑える効果があるとされています。年末年始はご馳走をいただく機会も多く、胃腸に負担がかかっている方もいらっしゃるのではないでしょうか。新しい年を健やかに過ごすためにも、七草粥を召し上がってみてはいかがでしょうか。

▼ I N D E X ▼

- 【技術関連情報】 ・ ペロブスカイト太陽電池
- 【関連製品紹介】 ・ シミュレーション受託
- 【お知らせ】 ・ 年末年始休業日のご案内

■ 技術関連情報 ■  
 ペロブスカイト太陽電池

ペロブスカイト太陽電池は現在注目されている次世代の太陽電池で、ニュースでも耳にすることが多くなってきました。この発明者は桐蔭横浜大学の宮坂力教授で、富士フイルムから2001年に教授に就任すると2004年にはペクセル・テクノロジーズを設立しました。当時宮坂研では東京工芸大学と色素増感太陽電池の研究をしており、そのメンバーの小島陽広と2009年に変換効率3.9%の太陽電池を発明しました。その特徴としては従来のシリコンでなく日本が世界第2位の生産量のヨウ素を主原料としていることです。また材料をフィルムに塗布して作ることができ、フレキシブルかつ軽量で量産性に優れています。変換効率は2019年には25%を超えましたが、面積が大きくなると変換効率が下がることや、水蒸気や酸素、紫外線で寿命が短くなるなどへの改良が続いています。国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）では「次世代型太陽電池の開発プロジェクト」で500億円を投じ2030年の社会実装を目指しています。国内では積水化学工業、カネカ、アイシン、エネコートテクノロジーズが研究開発を行っていますがポーランド、イギリス、中国も進んでいます。ペロブスカイトという名称はその結晶構造をチタン酸カルシウムで発見したロシアの研究者 Lev. Perovski にちなんで命名されました。また宇宙では耐放射線特性はシリコンよりも優れており、軽量、可撓性と相まって期待されています。2025年には大阪のうめきた駅の再開発でロール・ツー・ロール製造プロセスにより作られたペロブスカイト太陽電池が設置されます。

日本の再生エネ拡大の切り札、ペロブスカイト太陽電池とは？（資源エネルギー庁）  
[https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteiky/perovskite\\_solar\\_cell\\_01.html](https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteiky/perovskite_solar_cell_01.html)

次世代太陽電池：ペロブスカイト太陽電池（JAXA）  
<https://www.isas.jaxa.jp/feature/forefront/220527.html>

ペクセル・テクノロジーズ  
<http://www.peccell.com/>

(高野)

---

■ 関連製品情報 ■  
シミュレーション受託

---

弊社では、技術関連情報でご紹介した、でお客様のご要望にお答えしております。  
お困りの案件がございましたら是非お気軽にお問い合わせ下さい。

▼製品カタログダウンロード/お問い合わせはこちら▼

<https://www.alt.co.jp/library/56dfed769c98d49d5429c310/5ee6dbf4d921eaea237858f4.pdf>  
#{TAG}